

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 地域資料デジタルアーカイブ特講

（ 2020年 7月 9日作成）

氏名 久世均

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. デジタルアーカイブの歴史とその課題	デジタルアーカイブの歴史について説明できる。	知識基盤社会におけるデジタルアーカイブの必要性について事例をあげて説明できる。			デジタルアーカイブの歴史をまとめて、何が変化して何が課題になっているかを話し合ってみなさい。	
2. デジタルアーカイブプロセス	「Wonder 沖縄」におけるWeb用コンテンツがなぜ消滅したかについて説明できる。					「Wonder 沖縄」のアーカイブプロセスでは何が足りなかったのか。どうすれば持続可能になったのかを考えなさい。
3. 知のデジタルアーカイブ	知のデジタルアーカイブの提言について説明できる。	MLA 連携などデジタルアーカイブの連携の必要性について				デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドラインをよく読んで、

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

		具体例を挙げて説明できる。				それぞれの組織のデジタルアーカイブ構築・連携の手引きを完成しなさい。
4. デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドライン	知の地域づくりの推進するために必要なことは何かを説明できる。				デジタルアーカイブの構築・連携において大切なことを説明できる。	デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドラインをよく読んで、それぞれの組織のデジタルアーカイブ構築・連携の手引きを完成しなさい。
5. 知の増殖型サイクルの情報処理システムの構成		デジタルアーカイブのプロセスとして、知的創造サイクルをデジタルアーカイブに当てはめた知の増殖型サイクルについて説明できる。				知の増殖型サイクルにおけるメタデータの項目を作成してみなさい。なお、その際にDublin Core（ダブリン・コア）に配慮すること。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>6. 知の増殖型サイクルの知的処理と流通システム</p>	<p>デジタルアーカイブにおける知の増殖型サイクルの構成を説明できる.</p>			<p>「沖縄おうらい」における知の増殖型サイクルはどのように構成されるか述べなさい.</p>	<p>沖縄の学力向上における知の増殖型サイクルとは、どのようなサイクルになるか論じなさい.</p>
<p>7. 知の増殖型サイクルを支えるメタデータの構成</p>		<p>地域資源のメタデータの構成について具体例を挙げて説明できる.</p>			<p>地域資源のデジタルアーカイブのメタ情報の項目を考えてみなさい. そのうえで、それらの項目がなぜ必要なのか利用を考えて論述しなさい.</p>
<p>8. 我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性</p>	<p>デジタルアーカイブ社会について説明できる.</p>	<p>オープンなデジタルコンテンツの必要性について具体例を挙げて説明できる.</p>		<p>デジタルコンテンツのオープン化と著作権はどうしても利害が衝突する. デジタルアーカイブ社会においてオープンデータ化はなぜ必要で、</p>	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

				そのために著作権をどのように改正する必要があるかについて論述しなさい。	
9. デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン	デジタルアーカイブの構築・提供について説明できる。	アーカイブ機関が無理なくデータを整備・共有・連携できる共通基盤（プラットフォーム）の構築について、その機能を具体的に説明できる。			活用する場合は、メタデータを共有することで、様々なアプリの提供、付加価値の追加等を通じて、活用を行い、その成果物を保存・共有領域に還元し、再資源化することも期待されると報告されている。そのためには、具体的に何をすることが必要になるか述べよ。
10. デジタルアーカイブの構築・連携のためのガイドライン	知的財産推進計画を理解し説明できる。	新たな価値創造とデジタルアーカイブの構築について具体例			知的財産推進計画とデジタルアーカイブとの関係を明

タキシノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキシノミー）

		を出して説明できる。				確にして、知的財産計画の目的について論述しなさい。
1 1. 地域資源デジタルアーカイブによる知の拠点の形成	デジタルアーカイブと地域課題解決について説明できる。	地方創成イノベーションの創出について具体的に説明できる。				飛騨高山匠の技デジタルアーカイブにより、地域の文化産業を振興するための方策を3つ挙げて論述しなさい。
1 2. 知の拠点形成のための基盤整備	知識基盤社会とデジタルアーカイブの関係について説明できる。	地域課題の解決とデジタルアーカイブについて具体的に説明できる。			知識循環型社会について具体的に説明できる。	大学が地域の知の拠点形成のための基盤整備に必要な要素は何か論述しなさい。
1 3. デジタルアーカイブにおける新たな評価法	新たな評価法であるインパクト評価について具体的に説明できる。					デジタルアーカイブの新しい評価について論述しなさい。
1 4. デジタルアーカイブを活用した地域課題の解決手法		「知の増殖型サイクル」の手法による地			住民 R (Resident) -地域資源 L (Local	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>15. 首里城の復元とデジタルアーカイブの可能性</p>	<p>域課題に実践的な解決方法を確立することについて具体例を挙げて説明できる.</p>	<p>鎌倉芳太郎と首里城復元の過程で説明できる.</p>	<p>デジタルアーカイブという視点から鎌倉芳太郎資料集について説明できる.</p>	<p>Resources) 認知度</p>	<p>診断表から何がわかるか論述してみなさい.</p>	<p>首里城の復元に鎌倉芳太郎の資料が重要であったかについてデジタルアーカイブの視点で論述しなさい.</p>
---------------------------------	---	------------------------------	---	-----------------------	-----------------------------	--